

さいたま市女性カレッジ 私たちも学んでいます!

カレッジパートナーってなに?

メディア・リテラシーをメインテーマに開催した「さいたま市女性カレッジ2005」(6/21~11/29 全18回)では、受講者に加え、昨年度受講修了者のうち希望した方が、運営の補助スタッフ(カレッジ・パートナー)としてかわりました。「カレッジ・パートナー」が、この実践を通してさらに男女共同参画への認識を深め、新しい知識を得て行動への道すじを探る機会となることを願って実施したものです。

11人のカレッジ・パートナーは、「グループ討議・カレッジ・パートナーと学ぶ」の回の講座運営を担当するため、事前の打合せを行い、終了時には毎回感想レポートを作成し、振り返りをしました。

自分の言葉で伝える、考えをまとめる、人の話を聞き取るなど貴重な経験ができた、さらに多くを学べたとの声が寄せられています。パートナーシップさいたまをさらなる学びの場として活動の力にすることができたようです。

さいたま市女性カレッジ カレッジ・パートナーになって

今号では、カレッジ・パートナーのお二人の感想を紹介しています。



(伊藤 由美)

女性問題について考えれば考える程、その解決の困難さに弱気になってきたときにカレッジ・パートナーの募集がありましたので応募しました。予備知識が多少増えて参加したせいか、同じ事柄でも別の発見がありました。また、カレッジ・パートナーとしてかわり、参加者同士の話し合いを進める難しさや、講座準備の苦勞などを知ったことは、受身で学んでいたときは違った貴重な体験となり、改めて学び続けることの大切さを痛感しました。学ぶことは、様々なことを知っていくことでもあり、自分を重ね合わせる時、時には苦しみを伴います。その時は、学び始めたころの自分の気持ちを励みに、ゆっくり少しずつ、さらに学び続ける努力をしていきたいと思いました。

応募した動機は、前年度にはなかったテーマがあったので、これに関心を抱いたこと、また、前年度と同じ内容でも自分が理解しにくかったことを再度学ぶチャンスになると思ったからです。実際にカレッジ・パートナーとして参加してみると、限られた時間内で何が言ったり、まとめたりする準備の大切さ、そして、それを次のステップにつなげていくために、ふり返りの作業をする大切さなどを実践的に学ぶことができました。グループ討議では、有意義な話し合いを有効に進める要点を、客観的に学び直せるよい機会となりました。

(山岸 麻美)



パートナーシップさいたま 秋の講演会

メディアに称賛される男たち—その陰の女たち

- 日時 10月22日(土) 14:00~16:00開催
- 講師 中島 美幸さん(愛知淑徳大学講師)

「仕事ひとすじに、ひたむきに生きてきた無名の男たちが、日本の経済や社会の基盤を作り上げてきた…」メディアがあらためてそこに光をあてています。その陰で女たちはどのように生きてきたのか、その陰の構図を男女共同参画の視点から考える機会として開催しました。



「可愛い女」より「信頼される女性」に
「男は頑張った 妻は家庭で耐えた」—そんなトーンでNHKテレビ番組でもちやうど見直してみませんか、と切り出した中島さん。男のロマンの代弁とも言えるこうした番組が、実は男社会の職場で作られている現実を指摘し、その構図を男女共同参画の視点から考えてみようというわけです。メディアの製作部門は今も女性の構成比率が極端に低く、そのため女性の目線がどうしても欠落しがちです。また詩人で大学の講師でもある中島さんは、小学校の教科書に、強い男子と可愛い女の子が現在も登場する点に注目。遊遊は日本の近代化、「富国強兵」を結果的に陰で支えた非情な「女工哀史」の実態にも触れます。一方で男性の「過労死」という日本語がそのまま世界に通用する現実、それなのに女性が主役になることに戸惑いを感じている面にも触れ、「でも可愛いと言われるより、信頼される女性になろう」と笑顔で結んでくれました。

(長谷川 寛)

男女共同参画推進センター 事業検討会議 開催

9月14日に男女共同参画推進センター事業検討会議を開催しました。この会議は、パートナーシップさいたまの事業や運営をより充実させるため、利用団体や講座参加者等を構成員として、様々なご意見・ご提案をいただく機会として開かれています。

今回も多くの活発なご意見・ご提案をいただきました。今後の事業に反映し、参考にしていきます。



講座・女と男のトレンド社会学 — を開催します

内容・ゲスト

- 第1回 夫婦の年金—希望と誤解の年金分割
堀田 咲子さん(高崎経済大教授)
- 第2回 絶望のソナタ—夫と妻、思いがすれ違ふのはなぜ?
西田 小夜子さん(作家・夫婦のための定年塾主宰)
- 第3回 卒婚のススメ—型にはまった結婚はイヤ!
杉山 由美子さん(フリーライター)

いまなにかと話題になっていること、ちょっと気になっていることをテーマに、ゲストと参加者のフリートークで語り合います。関心のある方のご参加をお待ちしています。

- 日時 第1回 1/18 第2回 1/25 第3回 2/1 水曜日 午後6:30~8:30
- 場所 パートナーシップさいたま 会議室3
- 対象 さいたま市内在住・在勤・在学の方
- 定員 20名(各回のみ参加可)
- 費用 無料
- 申込み 電話・FAX・Eメールにて1/15までに申込み(先着順)
- 託児 2歳以上の未就学児10名(傷害保険料実費)

「講座・女と男のトレンド社会学」、「広報誌編集員の募集」の問合せ・申込みは下記へお願いします。また、講座・講演会の情報は、「市報さいたま」でお知らせしています。

さいたま市男女共同参画推進センター パートナーシップさいたま
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーナ大宮センタープラザ3階
電話048-642-8107 FAX048-643-5801
E-mail danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

いっしょに『鐘の音』をつくりませんか!

パートナーシップさいたまの 広報誌『鐘の音』の編集ボランティアを募集します。

- 活動内容 講座・講演会に参加しての感想、男女共同参画に関する図書の内容などの記事作成及び編集
- 対象 市内在住、在勤、在学の方(平日の会議に出席できる方・託児あり)
- 募集人数 5名程度
- 任期 2年
- 会議回数 月3回程度
- 応募方法 応募動機を1000字以内にまとめ、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を明記の上、2月10日までにパートナーシップさいたまへ直接ご持参、または郵送してください。
- 結果通知 3月下旬までにご連絡します。